このカタログに掲載の製品及び仕様について正しく知っていただくため、ご購入前に必ずお読みください。

⚠ 安全に関するご注意

●ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●このカタログに掲載の製品は屋内専用です。雨水のかからないところでご使用ください。
●電解水生成装置ROXシリーズからは、塩素ガス、酸素ガス、水素ガスが発生しますので、十分な換気が必要です。
また、火気のない場所に据え付けてください。
●据付工事、電気工事等が必要です。お買い上げの販売会社または専門業者にご依頼ください。
●電解水の生成に使用する水は、水道水を使用してください。
HOXシリーズは全硬度（CaCO3）70mg/L未満の水道水を使用してください。
全硬度70mg/L以上は軟水機の取付が必要です。
●電解水を容器に充填して流通・販売しないでください。
●電解水は他の薬剤と混合して使用しないでください。
●このカタログに掲載の製品は医療用ではありません。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●転倒防止のための付属品等がある製品については、必ず転倒防止対策を施してください。
転倒防止対策をおこなっていないと、地震等の振動により製品が転倒し、ケガの原因となります。
●このカタログに掲載の製品は日本国内仕様です。

食品衛生法に基づく食品等事業者の法的責務

食品衛生法により、食品等事業者は自らの責任において食品の安全性を確保するようもとめられています。
製品の安定した性能維持のために毎日の点検・清掃をおこない、衛生的にお使いください。

■ご購入に際しましては、「設置上のご注意」「専任者と点検について」「使用上のご注意」の内容を必ず事前にご確認のうえ、ご購入ください。

設置上のご注意

■搬入について

●搬入口、搬入経路は、搬入可能な大きさが必要です。

■設置場所について

●場所、給排水、電源等は取扱説明書・据付工事説明書に従って正しくおこなってください。
また、本体設置スペースは、設置条件により若干異なることがありますので、10mm程度余裕をとってください。（吸排気スペース・配管スペース等は本体設置スペースとは別に確保が必要です。）
●水平で丈夫な床に垂直になるように据え付けてください。床の状態が悪いときは、コンクリートか鋼板などで補強してください。据え付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガ等の原因になることがあります。
●壁掛け式の製品は、壁が丈夫で垂直なところに水平になるように据え付けてください。壁面の状態が悪い時は、コンクリートか鋼板などで補強してください。据え付けに不備があると、水漏れ、転倒、落下によるケガ等の原因になることがあります。
●周囲温度が5～35℃の場所に設置してください。
●周囲温度が0℃以下になり、凍結のおそれがあるときは必ず水抜きをしてください。
●水気や湿気の多い場所には据え付けないでください。絶縁不良やサビの原因になります。
●直射日光のあたるところや発熱器具のそばには、設置しないでください。
●水および塩がこぼれても支障のない場所に設置してください。
●電解水の使用場所付近や生成装置と換気扇の間（生成装置の風下）には精密機器等を設置しないでください。
●車両、船舶など揺れ動く場所での使用については保証できません。
●製品に直接水をかけないでください。
特に機械室に水がかかると漏電のおそれがあります。
●潮風が直接あたる海浜地区、硫化水素ガスや亜硫酸ガス雰囲気の温泉地区など特殊地区に設置する場合は、配管等の防サビ処理が必要となる場合があります。販売会社とよくご相談ください。
●お客様ご自身での移設はおこなわないでください。電解水生成装置を移設される場合は、お買い求めの販売会社にご相談ください。

■電源について

●電源は電気定格に合った専用コンセントが必要です。
差し込み口が2つ以上ある場合でも、他の電気器具と同時には使用しないでください。
●電圧は定格電圧の±10%以内が必要です。
●アースはD種接地工事が必要です。
万一の漏電事故防止のため、必ず正しいアース工事をおこなってください。
●電気工事、アース工事は、必ず販売会社または電気工事店に依頼してください。
●電気工事の際、配線用の穴を壁もしくは床にあける場合があります。工事内容は販売会社または電気工事店にご確認ください。

■消費電力について

●実使用時の消費電力は、周囲温度等、使用状況により変化しますので、あくまで目安としてください。カタログには定格消費電力が表示してあります。

■給排水配管工事について

●給水圧は、カタログ記載の範囲内で使用してください。
●給排水配管工事は、必ず販売会社または専門業者に依頼してください。
●給排水配管工事の際、配管用の穴を壁もしくは床にあける場合があります。工事内容は販売会社または専門業者にご確認ください。

専任者と点検について

●電解水生成装置の取扱いは「取扱い（管理）責任者」として専任者を決定し、取扱いおよび点検は専任者がおこなってください。
●上記専任者は取扱説明書にある「日常点検記録表」は毎日、「定期点検記録表」は月に一回、それぞれコピーした用紙に点検内容を記録し、保存してください。

使用上のご注意（ROXシリーズ）

●電解水生成装置は硬水を軟水にかえることはできません。
●貯水タンク及び本体からの配管は、通気管へ接続し、必ず屋外へ開放の上、防虫措置をおこなってください。
●通気管は、強酸性水側、強アルカリ性水側、中和槽の3種類をそれぞれ単独で内径30mm以上の塩ビ管を用いて火気の無い場所に設置してください。
●貯水タンクを設ける場合、必ず排気ポンプを設置してください。
●pH値および生成量は、各地の水質や設備条件によって変動することがあります。
●電解水は飲用ではありません。
●電解水生成装置から生成される強アルカリ性電解水は洗浄効果があり、強酸性電解水は除菌効果がありますが、使用する際の手順や方法を理解することで能力を発揮します。それぞれの電解水の特長を理解しないで使用すると電解水の能力が発揮されないばかりではなく、不具合を生じる場合がありますので十分ご注意ください。
●床洗浄等には強酸性電解水のみを大量に使用しないでください。
床洗浄をおこなう場合は、強アルカリ性電解水で洗浄の上、強酸性電解水と強アルカリ性電解水を1:1に混合した水で洗い、最後に水道水で十分にすすいでください。
●強酸性電解水は大量、または長時間散布しないでください。
●強酸性電解水は、必要量をすみやかに使用し長時間ため置きはしないでください。
●貯水している容器、またはタンクの中を直接のぞき込まないでください。
●貯水している容器、またはタンクに火気を近付けないでください。
●電解水を使用する場合、皮膚の弱い方は手が荒れることがありますので、使用後はハンドクリーム等の塗布をおこなうか、または使用時に手袋をお使いください。
●電解水を使用する容器はガラス、樹脂、またはステンレス製のものを使用してください。金属、樹脂製品は電解水使用後、水道水ですすいでください。
●生成中ランプが『点滅』しているときは、電解水の能力が規定に達していません。使用する際は生成中ランプが『点灯』していることを確認し、強酸性電解水、強アルカリ性電解水の注出方向を生成水表示ランプで確認のうえ、使用してください。
●電解水の注出口をふさがないでください。生成のバランスがくずれ電解水の性能が確保できなくなるおそれや隔膜の破損があります。
●電解水が機器等に付着した場合は、すみやかに拭き取ってください。また、強酸性電解水が金属にかかるとサビやすくなります。すぐに拭き取るか、十分に水洗いをしてください。ステンレス製でもサビることがあります。
●使用する塩は食塩（NaCl）または、塩化カリウム（KCl）の純度99%以上のものを使用してください。
●必ず、軟水機およびカートリッジフィルタを取りつけてください。配管詰まり、生成水の性能低下、電解槽の故障の原因になることがあります。
また、軟水機は内部に水が滞留すると薄い黄色に着色された水が出ることがあります。この水は健康に影響を与えるものではありませんが、気になる場合には軟水機の検水コックを開き、色水がでなくなるまで、十分に排水してください。
●強アルカリ性電解水側配管はスケール付着による配管詰まりがおこることがありますので、取扱説明書に従って定期的に配管洗浄をおこなってください。
●貯水設備を設ける場合必ず中和槽を設置してください。

■貯水タンクユニットについて

●酸性水中和剤は取扱説明書に従って必ず規定量補充してください。
●投入する酸性水中和剤は必ず付属のものをご使用ください。市販の粒径・成分の異なる中和剤を使用したり、別の中和剤を投入すると中和効果が得られないばかりか、思わぬ事故につながる原因になります。酸性水中和剤がなくなった場合は、最寄りの販売会社へ連絡してご購入ください。
●塩素吸着材は決められた時期に定期的な交換が必要です。

使用上のご注意（JIXシリーズ）

●生成、運転時は換気を十分におこなってください。
●貯水タンクを設ける場合、生成機からの配管及び貯水タンクから通気管を設け、屋外へ開放してください。
●通気管は、内径30mm以上の塩ビ管を用いて火気の無い場所に設置してください。

使用上のご注意（HOXシリーズ）

●電解水生成装置は硬水を軟水にかえることはできません。
●pH値および生成量は、各地の水質や季節によって変動することがあります。
●炭酸ガスが多く含まれる水道水では電解性能が低下しアルカリ性水、酸性水のpHがでない場合があります。そのような場合は最寄りの販売会社にご相談ください。
●生成された電解水にプラスチックやゴムなどのニオイがすることがありますが、害はありません。
●システムとして外部タンク等を設け利用される場合は、軟水器をご使用ください。その場合、外部タンクの水は必ず毎日入れ替えてください。また、タンク内は定期的に洗浄、消毒し、衛生的に保つことが必要です。
●2日以上ご使用にならない場合は、水抜きをしてください。また、2日以上間隔があいた後、再度ご使用になる場合は5分間通水してからご使用ください。
●毎日のご使用に関しては、ご使用前1分間以上通水してからご使用ください。
●アルカリ性水、酸性水を保存する場合は、密閉状態にして冷蔵庫で保管し速やかにご使用ください。
●pH10を超えた水は直接飲まないでください。
●排水ホースから出てきている水は使わないでください。
●電解水を使用する際、アルミ製や鉄製の鍋、やかんなどは使わないでください。
●この製品は、営業目的で使用する加工水（お冷等含）に使うことができる電解水を注出する製品です。しかし、一般飲食店、食品加工目的で使用する水の水質基準は各都道府県で定められており、電解水（アルカリ性水や酸性水）のpH値が水道法のpH範囲（pH5.8～8.6）から外れて使用される場合には、必ず設置場所管轄の保健所などで一般飲食店、食品加工目的で使用できることの確認を取ってからご使用してください。
●水質によっては、十分なpH値が得られない場合がありますので、電解水生成装置をお買い上げになる前に販売店にご相談ください。
●アルカリ性水、酸性水での薬の服用は避けてください。
●本体部品の一部である電解槽は一定時間使用後、交換が必要となります。交換時期の目安は、11,000時間運転時となります。

■アルカリ性水注出口切り替えについて

●水道水を電気分解するとカルシウムイオンなどがアルカリ性水に多く含まれ、一定時間アルカリ性水を注出することで注出ホースの中にカルシウムが付着し、このままの状態で使用を続けると注出ホースが詰まってしまいます。電解水生成装置は一定時間使用するごとに、アルカリ性水と酸性水の注出口を切り替えることで注出ホースの詰まりを防ぐことができますので、取扱説明書に記載されている方法に従って注出口を切り替えてください。

定期交換部品 [有料]

本体部品の一部は定期交換部品です。
一定時間使用後、交換が必要となります。

部品名	交換時期の目安
電解槽	3000時間運転時
排水弁	6000時間運転時
塩素吸着剤	前回交換時期より電解槽運転時間（電解水生成装置ROX-10WBの表示部）が360時間経過、もしくは前回交換時期より1年間経過のいずれか早い時期に交換してください。

この部品は、設置後1年間の保証修理の対象外です。

消 耗 品 [有料]

酸性水中和剤は消耗品です。

中和槽はタンクよりオーバーフローした強酸性電解水を中和し、排水します。
中和槽内の酸性水中和剤は強酸性電解水のオーバーフローにより、およそ1tの酸性水のオーバーフローで200g溶解します。
取扱説明書に記載された量に達した場合、必ずホシザキ純正、中和剤を補充してください。